

# 第1号議案 2009年度事業報告について

## 事業実績

### 1 会議等

- ・運営委員会 6月6日(土) (総会開催日) 9月24日(木) 3月11日(木) 計3回  
神奈川ネットの運営、方針等に関わる事項の検討及び決定
- ・事務局会議 4月3日(金) 5月27日(水) 7月3日(金) 8月12日(水) 10月21日(水)  
11月30日(月) 1月18日(月) 2月8日(月)  
神奈川ネット事業実施のための連絡調整及び情報交換

### 2 講座の実施

- かながわコミュニティカレッジ事業 (神奈川県からの委託事業)
- ・災害救援ボランティアコーディネーター養成講座 (初級編)  
開催時期 10月17日・24日・31日 (横浜会場) 11月21日・28日・12月6日 (茅ヶ崎会場)  
会場 かながわ県民センター、茅ヶ崎市役所、県立柳島青少年キャンプ場  
受講者 38名  
実施方法 1講座を90分として9コマを3日間で、神奈川災害ボランティアネットワーク運営団体を基本とする企画及び実施。
- ・災害救援ボランティアコーディネーター養成講座 (ステップアップ編)  
開催時期 1月30日・2月6日・13日 (茅ヶ崎会場) 2月20日・27日・28日 (横浜会場)  
会場 かながわ県民センター、茅ヶ崎市民文化会館  
受講者 40名  
実施方法 1講座を90分として9コマを3日間で、神奈川災害ボランティアネットワーク運営団体を基本とする企画及び実施をしました。
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座中級編 (神奈川県共同募金会からの助成事業)  
開催時期 12月5・12日 (横須賀会場) 3月13・14日 (秦野会場) 3月19・20日 (川崎会場)  
会場 県下3会場 (1会場2日間)  
受講者 67名 (横須賀会場36名、秦野会場16名、川崎会場15名)  
実施方法 神奈川災害ボランティアネットワーク運営団体を基本とする実行委員会による企画及び実施をしました。

### 3 研修会及び勉強会、事業の実施

神奈川西部地震を想定した災害ボランティアの災害図上訓練

開催時期 8月1日 (土)

会場 神奈川県小田原合同庁舎会議室

内容 講演「神奈川西部地震時における神奈川の被害想定と災害救援活動について」

講師 杉原英和氏 (神奈川県温泉地学研究所企画調整担当部長)

図上訓練 神奈川西部地震時の図上シミュレーションを地域に分かれて実施

東海地震を想定した災害ボランティアの災害図上訓練

開催時期 12月19日 (土)

会場 神奈川県小田原合同庁舎会議室

内容 講演「来年2月静岡における図上訓練への課題」

講師 小村隆史氏 (富士常葉大学環境防災学部准教授)

講演「新神奈川県自身被害想定調査報告書について学ぶ」

講師 山下正明氏(神奈川県安全防災局災害消防課)

図上訓練 新神奈川県地震被害想定に基づき、東海地震による県内各市町村区の被害想定と災害ボランティアセンター立ち上げ、その連携を目指す頭上訓練を実施

参加者 28名

三浦半島断層群地震を想定神奈川の防災図上訓練

開催時期 3月27日

会場 横須賀市総合福祉会館

内容 講演「三浦半島断層群地震時における神奈川の被害想定と災害救援のポイント」

講師 山下正明氏(神奈川県安全防災局災害消防課)

図上訓練 三浦半島断層群地震時の地区別図上訓練

参加者 36名

09年度首都圏統一帰宅困難者対応訓練神奈川県内コース

開催時期 9月26日(土)

内容 横浜、川崎、大和、藤沢の2コースでの訓練に協力。企画委員会への協力、コース検討委員会への協力、他協力体制をとっていきました。

災害時における他県等との連携強化研修会

開催時期 2月27(土)・28日(日)

場所 静岡市民文化会館

内容 東海地震を想定した近隣地域との連携想定訓練と外部ボランティア受け入れのための情報収集訓練に参加します。

防災ギャザリングへの協力

開催時期 1月22日(金) 23日(土)

場所 かながわ県民センター・磯子消防署

内容 県内の災害ボランティア関係者が集まり研修や訓練、情報交換などができる場を企画することで防災ギャザリングへ協力しました。

#### 4 情報の収集提供(各運営団体スケジュールの把握)

神奈川災害ボランティアネットワーク各運営団体それぞれの年間スケジュールを基に、1ヶ月単位を目安として、各団体の事業、取組みを1つのスケジュールにまとめる。

各団体の情報共有はもとより、県域で災害時の活動に関わる専門ボランティア団体等に情報を提供し、各地域ネットワークの災害ボランティアセンター設営訓練時などに共に協力参加を呼びかけます。

また、これらの情報を活かしたホームページでの情報提供に努めます。

地域ネットワーク支援

内容 各地域ネットワークの現在の取り組み状況を共有することで、各地域ネットの状況に応じた効率的運営を学びあう

#### 5 神奈川県総合防災訓練への参加

開催時期 8月30日(日)

会場 小田原市内

内容 西湘災害ボランティアネットワークを中心として、総合防災訓練実施のための参加協力を行いました。

#### 6 若者を対象とした防災啓発活動

主に小学生を対象として、各社協、行政等関係団体との協力、連携により、実際の体験活動を中心として各会場の特性を活かした取り組みが行われました。

<伊勢原会場>

日時 7月23日(木) 13時~16時

会 場 伊勢原市立伊勢原小学校校庭及び体育館  
主 催 いせはら災害ボランティアネットワーク  
社会福祉法人伊勢原市社会福祉協議会  
社団法人神奈川県青少年協会  
協 力 伊勢原市、伊勢原市消防本部、伊勢原市伊勢原小学校  
参加者 58人  
内 容 市消防本部から講話「災害が起こると困ること」について話をしてもらい、「消防車両乗車、消防車両の放水体験、消火体験」、「被災体験」として卵の殻のガラス体験、少ない水で洗濯、廃油エコキャンドル作り、最後に「ふれあい体験」として車いす体験を行いました。

#### <海老名会場>

日 時 11月15日(日) 10時~15時20分  
会 場 海老名市役所南芝生広場及び海老名消防署  
主 催 海老名災害ボランティアネットワーク  
社会福祉法人海老名市社会福祉協議会  
社団法人神奈川県青少年協会  
後 援 海老名市、海老名市消防本部、海老名市教育委員会  
協 力 海老名市赤十字奉仕団  
参加者 65人  
内 容 「災害時に人を助けることを学ぶ」こととして、車いすでの救援、小さな傷の手当、水の運搬・確保、ロープワーク、消火器操作の体験を行いました。また、「災害時に生き残ることを学ぶ」こととして起震車体験、煙体験、卵の殻ふみ、海老名消防署の見学を行いました。

#### <三浦会場>

日 時 12月5日(土) 10時30分~15時  
会 場 三浦市総合福祉センター  
主 催 社会福祉法人三浦市社会福祉協議会  
社団法人神奈川県青少年協会  
協 力 三浦市危機管理課、三浦市協働推進課、三浦市防災ボランティア、三浦市市民活動ボランティア、逗子災害ボランティアネットワーク、はやま防災ネットワーク  
参加者 46人  
内 容 災害時に小学生ができる体験として、「三角巾の使い方と簡単なロープワーク」やそれぞれ自宅の冷蔵庫にある食材を持ち寄り「雑炊づくりと試食」を行いました。午後は4つのグループに分かれて、「バケツリレーで消火訓練」「段ボールを使って就寝スペースを作る避難所体験」「車いすの介助」「卵の殻ふみ」を行いました。

#### <座間会場>

日 時 3月6日(土) 10時~16時  
会 場 座間市消防本部  
主 催 ざま災害ボランティアネットワーク  
社団法人神奈川県青少年協会  
後 援 座間市教育委員会  
座間市社会福祉協議会  
協 力 災害救援ボランティアステーション、座間市商工会  
内 容 雨天中止

協力連携事業

厚木市地域福祉コーディネーター養成・災害救援ボランティア講座 講師派遣  
日 程 11月16日(月) 参加者44名  
11月18日(水) 参加者46名  
会 場 厚木市総合福祉センター  
主 催 厚木市社会福祉協議会  
内 容 「過去の地震体験からのメッセージ」  
講師 神奈川災害ボランティアネットワーク 吉村恭二代表